

木田市長の

どろんどろんと  
コミュニケーション



### 快適な市民の森公園

Vol.98

大明東町にある市民の森公園は、今から33年前につくられました。多くの人達の努力と多額の費用が必要な大事業であったろうと思います。私の住んでいる河内町からも大きなシイの木が根っこから大切に掘られ、クレーンでトラックに積み込まれて運ばれていったことを記憶しています。

最近、この市民の森公園が多くの市民から愛され、利用がどんどん進んでいるように感じています。天気の良い休日などには子ども連れの家族、散歩をする人達、ペットに運動をさせる人などたくさんの人々であふれています。毎朝、ラジオ体操のために集まる人や、サッカーをする子ども達、夜間にウォーキン

グをする人達もいます。今年も思いもよらなかった大雪で鳥小屋が壊れてしまい、クジヤクが逃げ出してしまつて市民に迷惑をかけていますが、動物を見て楽しんでる子ども連れのかたも多く見受けられます。市民の間では「ガリバーの前で」というように待ち合わせ場所としても分かりやすく、ランドマークとしても価値が上がっています。一方、この公園を維持してゆくために、今も多くの人が関わってくれています。日頃管理を担当してくれているシルバー人材センターのみなさん、そして市民の森公園を素晴らしい公園にしようと活動しているP・S・M・I・Eのみなさんは、遊具を寄付してくれたりペンキ塗りをしてく

れていますし、樹木の名前などのプラカードを設置したり、山羊の散歩というイベントを開いたりしてくれています。このような皆さんの努力が実つてきて、市民の森公園が素敵な公園であるという認知度が上がってきているのでしよう。

また、ペットを連れて入れる公園は割合に少ないのではないのでしょうか。その点、市民の森は寛大だと思います。しかし、その分、利用する人達が自分のペットのフンの後始末をしつかりするということなどが大切です。あちらこちらの石などに、マナーを守ることを促すシールが貼られたりしていますが、みんながこの市民の森公園は自分達のものだという認識をして大切にし、更に快適な公園にしてゆきたいものです。



### 山下憲一の

## 東京奮闘記!

Vol.9

市では、昨年度から離島振興や首都圏での観光、企業誘致のPRを行うため、東京へ駐在員を派遣しています。

企画財政課企画経営室 ☎(25)1101

### 新たなチャレンジを

4月は会社では新年度、学校では新学期を迎え、多くの人々が新しい生活をスタートさせることと思います。私も人事異動により、引き続き東京で頑張らせていただくことになりました。

2年前の上京時、観光PRや企業誘致、ふるさと納税PR、国とのパイプづくりなど、与えられたさまざまな目的があり、「あれをやりたい」「こんな仕事をしてみたい」など、いろいろと期待を膨らませていました。ところが、実際のところ、私自身の経験値不足もあり、それぞれの目的に対して、東京でどのように動いていけば

いいのか、何から始めていけばいいのか、不安を抱えたまま、無我夢中で業務を進めてきました。

これまでの2年間で、多少の成功や失敗、挫折も経験してきましたが、現在は少し余裕ができて、視野が広がってきたと感じています。どこにどういいう仕事があり、そこにどういいう人がいて、自分がどういいうことができるか、ある程度の具体性をもって見えてくるようになりました。

3年目を迎え、上京時に考えていた東京駐在としての業務のビジョンを、バージョンアップしていく必要がありますし、中には軌道修正が必要な業務もあるかもしれません。

これまでの2年間の経験を糧に、新たなチャレンジができるように頑張ります。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

